

活動日誌 2021 年 12 月 / Activity report 2021.12

GJO コーディネーター 高田麻由

12 月に入って気温が下がり、冬らしい日が続いています。大学の教室の多くには、暖房がないので、学生もたくさん着こんで授業を受けています。寒い寒いと言いながら授業を受けるのは今月だけ。来月には休みに入るので、あと少しの辛抱です。

今学期も、「多言語+ (たげんごプラス)」という入門レベルの日本語や日本文化を紹介する講座が開講されました。日本語を専門としない学部の学生たちが、週 1 回、2 時間半の授業を 10 回にわたって受講します。今学期も 30 名近い学生の受講申し込みがありました。12 月 9 日 (木) は、その最終日で、一人ひとり自己紹介を発表してもらいました。「出身地」や「家族」、「趣味」「好きな食べ物」など、学んだ表現をうまく使って話すことができました。興味深かったのは、「日本の食べ物が好きだ」という人が多かったこと。中国、とくに上海は日本料理の店があちこちにあり、寿司やラーメンはもちろん、すき焼きや牛丼など、日本のメジャーな食べ物はよく知られています。中には「寿司につける、わさびが好き」という人も。「日本に行って、おいしい寿司を食べてみたいです」そんな学生たちの夢が、いつか叶うといいなと思っています。



(写真 多言語プラス 2021 秋冬)